

## 事務事業評価に係る外部評価を踏まえた対応方針

資料 2

<b>事務事業名</b>	介護予防事業 湯っこで生き生き交流事業
<b>担当課名</b>	高齢介護課

<b>内部評価</b>	<b>方向性</b>	現状のまま継続
	<b>方向性の理由</b>	介護保険給付費の上昇を抑制する効果が大きいため今後も継続して実施していきたい。
	<b>今後の具体的な取組方策と狙う効果</b>	湯っこの事業を開始してから7年目に入り、介護認定者数が計画より少なくなっており介護予防の効果が大きく表れている。現在週13コースのバス運行をしているが参加率は70%程度となっているので、電話での状況把握や友達からの声かけをするなど参加率の向上を目指す。また、バスの運行コースに工夫を凝らすなど新たなメニューを考案し、介護予防効果を充実させる。



<b>外部評価結果</b>	<b>方向性</b>	有効性、効率性の改善に留意しつつ事業の重点化を図る。
	<b>ご意見及び指摘事項</b>	<p>さらに重点化を図る 3名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・軽度認定者率が7.6%から6%へと成果が出ているので、参加者を増やすべきである。</li> <li>・参加実人数が段階的に増えるよう配慮し、参加市民を増やす。</li> <li>・体操や温泉に入るだけでなく高齢者が外に出るという意味でも大変良い事業と思う。</li> </ul> <p>有効性を改善して継続 2名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・寿命の短い男性の利用者を増やすように工夫する。関係機関とも連携し、事業の内容を利用者がより満足感を得られるように工夫する。</li> <li>・事業への参加者にPRをして、参加者増となった場合、参加者から少しでも負担をしていただいて、希望したら全員が参加出来たらいいと思う。</li> </ul> <p>効率性を改善して継続 1名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・老人のため考えて行ってもらいたい。</li> </ul> <p>休止 1名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・限られた人の参加、予算執行が非効率</li> </ul>



<b>外部評価を踏まえた対応方針</b>	
----------------------	--